

動物実験等の実施状況

(28年度)

研究所名	生物機能利用研究部門
------	------------

1. 動物実験等の実施件数等						実施件数合計 32件		
小哺乳類			大中哺乳類			鳥類		
動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数
マウス	12	2096	ウシ	1	30	ニワトリ		
ラット	1	70	ブタ	18	114	ウズラ		
ハムスター			ヤギ			カラス		
モルモット			ヒツジ			爬虫類		
ウサギ			イヌ			動物種	件数	飼養数
			ネコ					
			サル					
			イノシシ					
			タヌキ					

2. 動物実験の主な内容
<ul style="list-style-type: none"> ・精子形態異常の原因遺伝子のマッピングと遺伝子の特定を行う。 ・LPS-TLR4シグナル伝達機構における新しいパスウェイを解明する。 ・自己免疫性精巣炎を誘起し、繁殖能力におよぼす影響を評価する。 ・新規2型糖尿病マウスの膵臓β細胞喪失に関わる責任遺伝子の同定と病態解析を行う。 ・2種類の劣性突然変異マウス系統の遺伝解析・病態解析を行う。 ・家畜幹細胞 (ES/iPS細胞) のテラトーマ形成試験を行う。 ・異種間キメラによる家畜幹細胞 (ES/iPS細胞) のキメラ形成能評価を行う。 ・超効率的な育種改良法を実現するための基盤となるゲノム編集技術と新しい繁殖技術を開発する。 ・各種遺伝子2ノックアウトブタを作出する。 ・精巣異種移植により生産した血友病モデルブタの後代解析をする。 ・糖尿病モデルブタを作出する。 等。

- 備考
- 1 ○○の箇所には和暦を記載すること。
 - 2 「1. 動物実験等の実施件数等」の欄は、報告する年度における動物実験等の実施件数の総数、動物種（上記に表示のない動物種による動物実験等を実施している場合は、当該動物種名を新たに記載すること。）ごとの件数及び飼養数について記載すること。
 - 3 「2. 動物実験の主な内容」の欄は、報告する年度において実施した主要な動物実験の目的や実験方法等の内容について簡潔に記載すること。

動物実験等に関する自己点検及び評価報告書
(28年度)

研究所名: 生物機能利用研究部門

1 所内要領

- a 規程に適合した所内要領が定められている。
- b 所内要領は定められているが、改善すべき点がある。

①改善を要する点 小型実験動物を用いた動物実験とウシ・ブタ等の大動物を用いた動物実験があり、部門独自あるいは他部門の各飼養施設で適切に対処されているが、明文化することがベターである。
②改善の方針、時期等 明文化に向けて作業中。

2 動物実験委員会

- a 規程に適合した動物実験委員会が設置されている。
- b 動物実験委員会は設置されているが、改善すべき点がある。

①改善を要する点
②改善の方針、時期等

3 動物実験管理者

- a 規程に適合した動物実験管理者が置かれている。
- b 動物実験管理者は置かれているが、一部に改善すべき点がある。

①改善を要する点
②改善の方針、時期等

4 施設等の指定

- a 施設等は、動物実験委員会で審査され、規程に適合したものが適切に指定され、指定施設等においてのみ飼養管理及び動物実験が行われている。
- b 施設等の指定に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

5 施設等の維持管理

- a 施設等は適切に維持管理されている。
- b 施設等の維持管理に問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

6 動物実験計画の審査及び実施

- a 動物実験計画は、規程に従って適切に審査、実施されている。
- b 動物実験計画の審査、実施に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

7 動物実験の実施結果報告

- a 動物実験の実施結果は適切に研究所等の長へ報告され、取りまとめた実施状況は理事長へ報告されている。
- b 動物実験の実施結果の報告に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

8 実験動物の健康及び安全の保持

- a 飼養保管や輸送において、規程に定められた実験動物の健康・安全の保持の措置が適切に行われている。
- b 飼養保管や輸送において、実験動物の健康・安全の保持に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

9 生活環境の保全

- a 規程に従い、施設等及びその周辺の生活環境の保全に努めている。
- b 施設等及びその周辺の生活環境の保全に関し問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

10 人への危害・環境保全上の問題の防止

- a 規程に従い、人への危害や環境保全上の問題が適切に防止されている。
- b 人への危害や環境保全上の問題の防止に関し問題がある。

①問題点

②改善の方針、時期等

11 安全管理に注意を要する動物実験(遺伝子組換え動物、感染症等に係る実験等)

- a 安全管理に注意を要する動物実験について、規程及び関連法令に適合した実施体制が確保され、安全に実験が行われている。
- b 安全管理に注意を要する動物実験について問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

- 安全管理に特に注意を要する動物実験は実施していない。

12 地震、火事等の緊急時の対応

- a 緊急事態に備えた措置に関する計画が定められ、緊急時の対応に問題はない。
- b 緊急事態に対する備え、対応に関して問題がある。

①問題点 緊急連絡体制はあるものの実験用小動物とウシ・ブタ等の大動物で問題点異なるため、それぞれに措置等を改善する必要がある。
②改善の方針、時期等 部門内で改善可能な実験用小動物に関するものは年度内に整える予定である。大動物に関しては飼養する部門の対応に準じる。

13 教育訓練

- a 規程に沿って、教育訓練が実施されている。
- b 教育訓練は実施されているが、問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

- 必要な教育訓練が実施されていない。

○実施の方針、予定等

- d 当該年度には、教育訓練が必要な者はいなかったため、実施せず。

- 備考 1 ○○の箇所には和暦を記載すること。
2 該当する評価結果の□に✓印を記入すること。
3 評価結果が「b」又は「c」に該当した場合は、当該評価結果の下の欄に表示している事柄について、当該欄にその内容を記載すること。